

かの形での言及がなされていたのであればと惜しまれるところである。

最後にわが国は国連の阿輪ともいふべき安全保障理事会及び経済社会理事会の双方に同時に立候補し当選した。また国連工業機構理事會、国連環境計画理事會、食糧理事會の理事國に選出される等わが國が希望したポストの獲得に残らず成功した。これはわが國に対する各國の評価が高まっていることを示すと共にわが國として責任の重大さをあらためて痛感させられるものがある。

四

総じて国連において新しい動きが見られ、そうした中でわが國は次第に困難な選択を迫られることが多くなってきている。即ち、わが國は先進工業國として基本的に西歐諸國と考え方を同じくすることが多いが、他方、アジアの二國としてアジア・アフリカ諸國の主張には深い理解と同情を有している。時として対立することの二つの立場をいかに調整して行くか、これからが試練の時といえよう。

(外務省國際連合局長)

ただでやわっていったらどうか、と問うと、それは無責任だと責められる。

このような現実を直視して、われわれはいま、東南アジアをどう考えてゆくべきなのか。本書は、小著ながら、そのような問題を考えるための待望のテキストだといつてよい。それは、コロンボプランの専門家としてインドネシアに一年間滞在した著者が、シャープな近代經濟學者としての体験を通じて、偽善者ぶった經濟開闢論・經濟協力論ひいては東南アジア論の流行にたいし、きわめてさわやかな不機嫌さをベースに、わが國のマスコミやジャーナリズムではないに、そして真剣に語っているからである。アジア諸國への援助の増大が、打ては響くように有効性をもつと考える俗論にたいしては、援助される側の途方もない怠惰や非計画性について語り、援助の量をややし、質を改善せよという正

終曲

(制作) 筑摩書房事業出版

(出版) 〒三二六 足利市巴町

法 玄 寺 出版 部

電話〇二八四(21)二七九〇番

振替にて一五〇〇円送金して頂ければ直ちにお送りいたします。

振替番号(東京) 八八〇三六

論にたいしては、援助がたぶつき邪魔物扱いされる受けいれ國側の土壌を語っている。こうした問題は、畢竟、文化と価値観の驚くべきギャップに起因する。

以上、「押しつけ」がときにはは蓋であるのに、そのような見方をタフー視するところにこそ問題があることを著者は具体的に示している。短期間現地を調査し、反日論の原因をまぼら日本のオーバードレゼンスや商社、企業活動のせいにする學者、評論家、ジャーナリストにこそ問題があることをも説く著者は、イギリスの植民政策や日本の台灣統治のフランスの体験を、日本が好むと好まざるにかかわらず「大國」としての影響力をもつがゆえに、再評価すべきだとさえ提案する。著者のこのような卒直な意見こそ、おもねりとなどりを超えてアジアの将来を共に考えてゆくためにいま必要な提言であり、この点で本書はきわめてすぐれた文明論でもあるといえよう。

(東京外語大助教授・中嶋權雄)

書評

援助する国される国

飯田 経夫著

↑日経新書・四〇〇円↑

いまからちょうど一年前、東南アジアを訪問した田中前首相は、激しい反日デモに出会っ

た。すでに日本のエコノミック・アニマルぶりが様々な批判と自己批判を呼んでいただけに、日本人は、おしなべて、反省という言葉をお口にした。だが、そのような後悔によって、問題はどのように解決されるというのか。口をきわめて日本の進出を批判する東南アジアの留学生に、では、あなた